



きたおおじ保育園

2023年度

2月 園だより

<贅沢だなあ〜>

近くの神社で穏やかにおままごとを楽しむ仲間たち。小さなスコップで砂利をすくい、上手にカップに入れていきます。「アイスクリームできましたよ〜」ニコニコとわたしの所に届けてくれました。「つめたいねっ」とか「美味しい〜」とか言いながら食べる真似をすると、嬉しそうに「おかわり？」と聞かれます。アイスクリームのおかわりなんて贅沢だなあ〜と思いながら、「おかわり下さい」と追加注文です。

<エンドレスアイスクリーム>



「わかりました！」と小さなスコップで砂利をすくい始める仲間に見惚れていると、小さなカップを持った別の仲間がやって来て「どーぞ」と渡してくれます。どうやらアイスクリームを作ってくれたみたいです。「美味しい〜」と言って食べ終わると、人差し指を立てて「もういっぱい？」と聞いてきます。アイスクリームのはしごなんて贅沢だなあ〜とっていると、「アイスクリームできましたよ〜！！」とさっきの仲間が！そこからは、アイスクリームの食べ放題！エンドレスアイスクリームです。季節は冬の真最中！手がかじかむような寒さの中、何故だかアイスクリームばかり出てきますが、私の凍える体は、楽しそうな子どもの笑顔に溶かされていきました。

<きたおおじ保育園ってどこ？>



お外で遊ぶおままごとの玩具には“きたおおじ保育園”と書かれた小さいシールが貼られています。ある日「これなんて書いてあるの？」と1人の仲間が聞きました。「きたおおじ保育園って書いてあるんだよ」とわたしは答えます。するとベツの先生が「きたおおじ保育園してる？」と聞きました。その子は「うん！」と頷きます。つぎに先生は「きたおおじ保育園ってどこ？」と聞きました。わたしはその時、その仲間が、きたおおじ保育園の方向を指さして「あっち」と答えると思っていました。

<場所じゃなくて人>



ところがどうでしょう。その仲間は、神社にいる子どもたちを順番に指差し、先生を指差し、最後に自分を指さして、ニヤリとドヤ顔をして見せたのです。それが何を意味しているのか分かった途端、なんとも言えない気持ちになりました。つまり、その仲間にとっては、場所じゃなくて人だったんです。私たち大人の感覚では、どこ？と聞かれれば場所でしょ？住所でしょ？紫野大徳寺町でしょ？子どもたちは違う。子ども達一人ひとりが、きたおおじ保育園なのです。きたおおじ保育園の仲間がいるところが、きたおおじ保育園なんです。なんて素敵な感覚なんでしょうね。涙が出そうになります。私は場所を守りたいんじゃない…、この子ども達を守りたい！私の最近のモヤモヤが少し晴れました。いつも気付かせてくれるのは子どもです。

2月に入りましたね。1年で最も寒い時期と言われるこの時にあっても、背中を丸めて縮こまってばかりではなく、抱きしめる腕の隙間から溢れ出るほどの温もりを、子ども達と一緒に感じていきたいと思えます。わたしは昆虫なみに寒がりですが…。



主任保育士 糸井恵太



きたおおじアルバム

